

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの
令和3事業年度に係る業務実績に関する
評価結果

令和4年8月

桑名市長 伊藤 徳宇

年度評価の方法

本評価委員会は、地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）について、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの業務実績に関する評価の基準」に基づき、法人の第3期中期計画の第3期事業年度である令和3事業年度の業務実績に関する評価を行った。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価を基に法人へのヒアリングを通じて、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の進捗状況について、総合的な評価を行った。

I 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.5であり、また以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、A評価（計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 ー（ ）】は中項目番号及び小項目番号 [小項目評価が5の項目]

・【1ー（2）】地域医療連携の推進

紹介率、逆紹介率ともに前年度実績を上回り、計画値を達成しており、地域医療機関との連携に最大限に努めたと考えられること。

・【2ー（3）】研修医の受入れ及び育成

初期研修医のフルマッチングを継続し、令和5年度より初期研修医受け入れ枠の2名増が認められたこと。

また、専攻医（後期研修医）についても、13人を確保し、計画値を達成していること。

[小項目評価が4の項目]

・【1ー（3）】災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力

新型コロナウイルス感染症への対応については、桑名保健所及び桑名医師会と連携がとれており、桑名市総合医療センターを中心とした検査・診療体制が整備されていること。

また、県からの派遣要請を受け、新型コロナウイルス感染症患者入院待機施設の立ち上げ、運営のため、DMATの派遣を行ったこと。

・【2ー（2）】医師の確保

看護師や薬剤師等の医療技術職による診療補助や、医療事務作業補助者による症例登録業務の拡充を行うなど、医師の業務負担の軽減を図ったこと。

また、大学等関係機関と連携し、医師が不足している診療科の医師確保に努めたこと。

・【2-(4)】看護師の確保及び定着

新型コロナウイルス感染症が拡大し、看護師の負担が増える中、負担軽減に取り組み、また、離職率を9.1%に抑えたこと。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象 小項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 医療の提供	3	1	1	1		
2 医療水準の向上	4	1	2	1		
3 患者サービスの一層 の向上	3			3		
4 安心して信頼できる質 の高い医療の提供	4			4		
合計	14	2	3	9		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

中項目評価の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 】は中項目番号

[中項目評価が3の項目]

・【3】職員の就労環境の整備

業務の効率化や業務分掌の見直しに取り組み、医師を含めた職員一人当りの時間外労働時間を、前年度より7%削減したこと。

・【5】収入の確保

医業収益は、前年度実績を上回り、予算計画を達成していること。

新型コロナウイルス感染症の影響により、新入院患者数、病床稼働率ともに計画値を下回ったものの、集中治療室の稼働率の上昇や中等症以上の新型コロナウイルス患者の入院受け入れ、外来化学療法が増加に伴い、1人1日当り入院収益及び外来収益については、ともに前年度実績を上回り、計画値を達成したこと。

(3) 中項目評価の集計結果

中項目	評価対象 項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 適切かつ弾力的な人員 配置	1			1		
2 職員の職務能力の向 上	1			1		
3 職員の就労環境の整 備	1			1		
4 効率的な業務体制の 推進と改善	1			1		
5 収入の確保	1			1		
6 支出の節減	1			1		
合計	6			6		

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

「財務内容の改善に関する目標と達成するためとるべき措置」に関する評価結果は4であり、大項目評価は、A（計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

新型コロナウイルス感染症の影響により、新入院患者数、病床稼働率ともに計画値を下回ったものの、集中治療室の稼働率の上昇や中等症以上の新型コロナウイルス患者の入院受け入れ、外来化学療法の増加に伴い、1人1日当り入院収益及び外来収益については増加したことから、医業収益は予算計画を達成したこと。

また、新型コロナウイルス感染症患者受入れのための病床確保に対する補償やPCR検査の実施に対する補助金等の交付により、減価償却前利益が増加したこと。

II 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の令和3事業年度の業務実績については、3つの大項目評価のうち、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」および「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」についてはA評価、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」についてはB評価であること、加えて以下の点を考慮し、全体としては中期計画の達成に向け、計画どおりに進んでいると評価した。

2 全体評価に当たり考慮した事項（大項目評価に当たり考慮した事項以外のもの）

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、救急搬送の受入れを一時的に制限せざるを得ない状況の中、救急車搬送患者の積極的な受入れを継続し前年度実績を上回っていることから、順調に受入れを行っているといえる。
- ・がん相談の充実を図るため、地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修の開催や、令和3年度よりがん相談支援センター設置などの取組を進め、令和4年4月1日付で三重県がん診療連携拠点病院の指定を受けたこと。
- ・令和2年に地域災害拠点病院の指定を受け、資機材の更なる充実や、各部署における緊急時連絡体制の強化に取り組んでいること。
- ・職員の対応に関する前年度の指摘事項を受けて、職員の配置換えや接遇の向上を図り、改善に努めたこと。
- ・法人の医師が外部講師として、地域の小学校（3校）におけるがん教育に従事したこと。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・各部門における三重大学医学部附属病院との人事交流や、事務職員の人事交流に関する協定を締結するなど、職員の職務能力の向上を図っていること。
- ・医療のデジタルトランスフォーメーション（DX）化を推進するため、三重大学・桑名市・桑名市総合医療センターの三者にて、「新しい未来の共創に関する協定」を締結し、効率的な業務体制の推進に努めていること。
- ・病床稼働率の向上をより一層推進するため、令和4年度の入院支援センター設置に向けた準備に着手していること。

3 評価に当たっての意見、指摘等

- ・年度計画については、評価が難しい項目が複数あることから、達成できたかどうかを確認することができるよう、具体的な数値等を設定していただきたい。
- ・医薬品等のたな卸し資産については、数値が横ばい傾向にあることから、より一層の改善に努めていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応に係る国等からの補助金の交付が終了した後においても、健全な経営状況を維持できるよう努めていただきたい。